

緑化通信

2020
8月25日
(年7回25日発行)
第481号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577
URL: <http://www.ueki.or.jp/>
E-mail: honbu@ueki.or.jp



購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円



日本列島植木植物園

ナショナルプランツ コレクション*

園主 古川和生 古川庭樹園 (大阪府) ☎0721-93-2673

雲南地湧金蓮 (ウナンチユウキンレン)

学名 *Musella lasiocarpa*

中国雲南省からインドシナ半島原産で草丈は1.5m前後。「地中から湧き出た金色をした蓮の花」のように見えることからこの名前がつけました (ハスの仲間ではありません)。花は直径20cmから30cmで大きな花弁と思われる黄金色のものは花を保護するための苞であり、この苞が次々と開き、苞の基部から小さな花が顔を出します。

開花期間が長いのも魅力で半年から温暖な環境では1年半近く咲き続けます。耐寒性にも優れ、寒い地方では地上部は枯れ込みますが、気温マイナス10度以上であれば越冬可能という説もあります。



ピンクバナナ (別名ベルチナバナナ)

学名 *Musa velutina*

インド北東部のアッサム地方原産で草丈は1.7m前後。バナナの仲間としては耐寒性に優れ寒い地方では地上部は枯れ込みますが、気温マイナス5度以上であれば越冬可能で春になると再び芽吹くので毎年果実の収穫が可能です。果実は長さ10cm前後で糖度は低く、種子が多い。果肉が少ないので「アケビバナナ」と呼ばれることもあります。食用果実ではなく観葉植物としての流通が一般的です。



*ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

コンテナ部会総会のご案内

開催日 令和3年1月22日(金)
TKP 仙台南町通カンファレンスセンター

青年部会総会のご案内

開催日 令和3年2月9日(火)
ニューオーサカホテル(大阪府)

(一社)日本植木協会

令和3年度通常総会 開催のご案内

開催日 令和3年1月21日(木)
ホテルメトロポリタン仙台



令和2年度 第3回理事会を開催

令和2年6月26日(金)13時から協会の会議室において理事13名、監事1名及び事務局の出席のもと第3回理事会が開催された。
議事内容は次の通り。

○令和2年度前期監査報告について
監事から、午前中に実施した令和2年度前期監査結果について、財産及び正味財産増減のすべての点について適正に処理されているとの報告がされた。

○令和2年度公益目的支出計画実施事業について
内閣府に延長が認められた公益目的支出計画事業について「緑化推進普及啓発事業」の実施状況並びに今年度の実施予定の説明及び「人材育成事業」の実施予定についての説明が行われ、計画のとおり今年度で終了することとした。

○令和3年度における会計処理について
令和3年度の予算については、今年度で公益目的支出計画事業の終了するため内閣府に対して執行状況報告がなされることから、顧問税理士からの助言もあり翌年度会計からは従来の会計方式に戻すこととし、11月の理事会までに素案を作成することとする。

○令和3年度総会について
令和3年1月21日(木)宮城県仙台市青葉区にある「ホテルメトロポリタン仙台」で開催を予定しているが、コロナ禍の影響により、開催するかは判断が難しい。

○連絡調整会議について
コロナ禍の影響で実施を見合わせていた、令和2年度連絡調整会議を令和2年8月21日(金)協会の会議室で開催することとした。

○委員会報告
①コンテナ委員会は未掲載樹木の価格調査を実施。
②供給可能量調査委員会は4回のウェブ会議を実施。時間的に余裕ができ、旅費の削減にもつながる。委員会の会議だけでなく、プロックでもウェブ会議を進めていきたいと要望があった。理事会後の懇親会では、協会顧問の御三方、自由民主党元幹事長古賀誠氏、参議院議員有村治子氏、衆議院議員藤丸敏氏も参加してくださり、貴重な意見を伺うことができた。

2021年版協会オリジナルカレンダー

2021年版協会オリジナルカレンダーについて、NHK出版「趣味の園芸」編集部との協力を得て作成いたします。

会員価格...400円(税別)、
一般価格...500円(税別)
1部(最少ロット10部、送料別途)
申込締切日...9月16日(水)



コンテナ農場(100万本生産)



コンテナ農場



オリーブ



カンツバキ赤花と白花

(株)瀬戸内園芸センター



愛媛県今治市旦甲 248-1 TEL 0898-48-0010(代) FAX 0898-48-8187
<http://www.setoen.com/> E-mail: setouchi@setoen.com

主な生産物

クロマツ コニファー類 ヤシ類
カンシ類 クスノキ タブノキ
モチノキ ウバメガシ オリーブ
カクレミノ クロガネモチ
サンゴジュ シマトネリコ
マテバシイ ヤブツバキ ヤマモモ
レッドロビン オウゴンマサキ
カンツバキ(赤花と白花) サザンカ
シャリンバイ ツツジ類 トベラ
ハマヒサカキ ヒサカキ ミカン類
サクラ類 イロハモミジ ハナモモなど

シリーズ 社園さん紹介 No.1

インタビュー

熊山園(神奈川県藤沢市)



左から専務の熊山将敏さん、社長の直行さん、守部 咲さん、専務の奥様の千穂さん

「従業員さんがいてくれるの仕事」と言う熊山園さんは、明るいバレーボール一家でした。

「シリーズ 社園さん紹介」を始めるのにあたり、トップバッターはできたら女性従業員のいる社園さんにと調査開始。すぐに熊山園さんのお名前が挙がりました。今、国でも勧めている女性活躍推進をいち早く取り入れていた神奈川県藤沢市の熊山園さんを訪ね、女性従業員の咲さんと、奥様の千穂さんにお話をお聞きました。

藤沢市瀬郷周辺は植木の生産地

取材当日、「よっ！」っと、手を挙げて三日月形の優しい目が印象の熊山社長。電話でも何かと親切に教えてくれた奥様の千穂さんが「暑いところお越しくださいませ…」と、明るくお出迎えいただき、一瞬にして緊張がほぐれました。奥様の横には長身で圧倒的な存在感のある3代目の専務の将敏さん。でもよく見ると目は社長譲りの優しい目をしていました。

創業57年の熊山園さんのある神奈川県藤沢市は、J A 植木生産者組合だけでも66社程いるという植木生産者の多い地域。かの有名な寒川神社にも車で10分程、サザンでお馴染みの湘南茅ヶ崎にも近く静かないい所でした。

女性従業員「咲さん」にインタビュー
植木屋さんになったきっかけは学校の先生の勧め

植木屋さんに就職したきっかけはなんですか？

「もともと農業関係に興味があり、高校3年間、専門的なことを学んできました。その知識を生かしたかったことと、学校の先生の紹介がきっかけです」とはにかみながら咲さんが答えてくれました。先代のおばあ様がパートさんと挿し木の仕事をしていたことから始まって、実は女性従業員は3人目だそうです。咲さんはすでに7年のご経験があり、今では熊山園にとって、欠かせない存在。昨年にはご結婚もされて仕事と家庭の両立をしているとのことでした。

「ハウス管理は信頼して任せてる」と太鼓判

どんなお仕事を普段はされているのですか？

「ハウスの中の植物の水やりや管理、挿し木、種をまいて増やしたり、ポット替えをしています。出荷前の置き場では、はさみで整えたり、水をあげたり、木々の最良の状態での出荷をしています。今は暑いので乾き等がないかを見逃すミスはしないよう、常に植木の細部まで観察しています」と咲さん。広い現場で、多くの樹木1本ずつを女性の細やかな視点で見ることが仕事に繋がっているのでしょう。

専務の将敏さんが「彼女にハウスは任せています。花が咲いたら色や品種が分かるよう何百本もある樹名の印付けもこなしてくれています」と信頼しているのがよく伝わってきました。



咲さんの今の目標は中型車の免許取得

好きな仕事、大変な仕事、目指している仕事は何ですか？

「仕事の中で剪定が一番好き。1年後、数年後のことを考えて剪定するのが面白いんです。でも剪定後の枝葉を片付けるのはやっぱり大変で、2トントラックだとすぐいっぱいになるので、実は今、中型車の免許取得を目指しています」と、照れながらもはっきり答えてくれました。仕事の合間に教習所に行かせてもらって、会社にバックアップしてもらっているそう。

今回は、中型車を運転する咲さんにお会いできるでしょう。咲さん頑張って！きゃしゃで、恥ずかしがり屋の咲さんは、奥に秘めたパワーの持ち主でした。

奥様の千穂さんにインタビュー
旦那の家業だから、その一心で。

「最初は、畑違いの仕事でしたので随分戸惑いました。色々な方やお客様への挨拶から始まり、次第に面識もできて、いつの間にか色々教わっていました」

と千穂さん。結婚前は給料を貰う側から、結婚後はお給料を払う側。経理や公的な手続きも多く、最初は失敗の連続だった」と話してくれました。

「旦那の家業なんだから、その家業を手伝いたいという気持ち一心で始めました。今でも家事、育児、仕事の三本立てがぐるぐる駆け巡っている毎日です。一番大変なことは何ですか？の問いには「大変だと思ってしまうと何も進まなくなってしまうので、大変だと思わないようにしています」と明るく笑顔で話してくれました。お母様から少しずつ教えてもらって世代交代をしてきたとのこと。私は尊敬の眼差しで聞いていました。



専務から「従業員さんがいてくれる仕事」と教わりました

主人からよく「従業員さんいてくれる仕事」とよく聞かされていたので、私もどこまで対応出来ているのかわかりませんが、出来る限り従業員さんを大切にしたいですし、本当に感謝しています」と話しながら、ちらっと咲さんを見て二人で笑っていた。その一瞬で物語っていました。

週末はバレーボール指導で社会貢献も

将敏さんも千穂さんも、週末は各々の地元小学生バレーボールチームを指導していて、将敏さんは昨年、チームを神奈川県大会2位までに引っ張った手腕の指導者。今年こそと全国大会を目指していたが、このコロナ禍で試合がなくなって残念がっていました。

息子さん二人もバレー部で、次男はバレーで県外の学校に通わせており、近隣の植木屋さんに「何かあったらよろしく！」と頼んでいるという。確かに植木屋さんは全国区ですね。

千穂さんも週末は、息子さんの部活の応援と、自分の小学生チームの指導をしているとのこと。みんなのお弁当を作ったり、洗濯物も山のように想像すると週末もさらに忙しいことでしょう。それでもお二人ともバレーボールの話をしていた時、とても元気で輝いていました。ON、OFFを上手に切り替えている素敵なお夫婦だなと感じ、朗らかな気持ちになって取材を終えることが出来ました。お忙しい中、ありがとうございました。

飯島さん(大和園)
登場の一コマ。

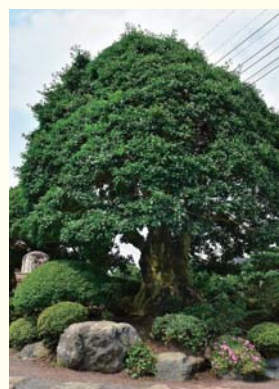
途中、支部長の飯島さん(大和園)は取材を心配して見に来てくれました。咲さんについて「彼女は植木を取りに市場まで来たりするんだけど、



とにかく一生懸命なのよ！」と褒めまくって、「給料上げてもらいな！」と言言って立ち去った爆笑の一場面もありました。



94歳の会長の松治さん



樹齢300年程のクロガネモチ



広い圃場



取材前に神秘的な参道を歩いて参拝した寒川神社

供給可能量調査委員会

供給可能量調査結果の連続データをHPに公表しました

供給可能量調査委員会では平成17年から平成30年までの供給可能量調査結果を連続データ化し、ホームページに公表しました。一般開示向けには樹種の寸法別に閲覧することができ、また会員向けには会員ページ内で調達難易度の推移を確認出来るようにいたしました。

連続データ作成にあたっては、名前が変化した樹種の擦り合わせなどを地道に作業いたしました。

平成17年から平成30年までの供給可能量の推移をみると、14年間で約60%の減少が見られますが、特徴として露地栽培本数の減少が顕著である一方、コンテナ栽培本数の減少は比較的なだらかと考えられます。

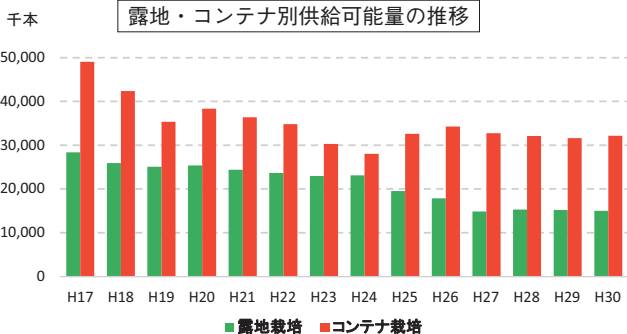
露地栽培の樹種別では常緑、落葉ともに低木類の供給量減少が著しいようです。一方、コンテナ栽培の樹種別では常緑低木が14年間でほとんど減っており、コンテナの

な事がみえてきます。植栽現場では利用樹種の波があります。また、利用樹種の変化もあるので、供給可能量調査委員会では時代に応じた調査対象樹種の追加等を行っています。

		平成17年		平成18年		平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
		本数	構成比	本数	構成比	本数	構成比	本数	構成比	本数	構成比	本数	構成比	本数	構成比
露地栽培	針葉樹	2,674	3.5	2,178	3.2	1,904	3.2	2,296	3.6	2,106	3.5	2,219	3.8	2,307	4.3
	常緑高木	3,025	3.9	2,783	4.1	2,985	4.9	2,958	4.6	3,263	5.4	2,982	5.1	3,125	5.9
	落葉高木	1,936	2.5	1,850	2.7	1,613	2.7	1,571	2.5	1,732	2.9	1,667	2.9	1,544	2.9
	常緑低木	17,209	22.2	15,847	23.2	15,979	26.5	15,816	24.8	14,616	24.1	14,306	24.5	13,681	25.7
	落葉低木	3,305	4.3	2,992	4.4	2,351	3.9	2,535	4.0	2,459	4.0	2,281	3.9	2,077	3.9
	ヤシ類	12	0.0	28	0.0	20	0.0	12	0.0	10	0.0	13	0.0	11	0.0
	木草本類	100	0.1	151	0.2	155	0.3	150	0.2	151	0.2	148	0.3	166	0.3
	つる性類	3	0.0	3	0.0	0	0.0	1	0.0	1	0.0	2	0.0	1	0.0
	ササ類	99	0.1	58	0.1	48	0.1	49	0.1	35	0.1	36	0.1	35	0.1
	露地計	28,369	36.6	25,895	37.9	25,059	41.5	25,391	39.8	24,377	40.1	23,658	40.4	22,950	43.1
コンテナ栽培	針葉樹	2,683	3.5	2,265	3.3	2,073	3.4	2,043	3.2	2,227	3.7	2,282	3.9	1,977	3.7
	常緑高木	4,324	5.6	4,409	6.5	3,549	5.9	3,627	5.7	3,532	5.8	3,063	5.2	2,907	5.5
	落葉高木	3,448	4.5	2,965	4.3	2,160	3.6	2,252	3.5	2,082	3.4	1,751	3.0	1,514	2.8
	常緑低木	6,078	7.8	5,990	8.8	5,048	8.4	5,301	8.3	5,340	8.8	4,873	8.3	4,266	8.0
	落葉低木	2,956	3.8	2,231	3.3	2,003	3.3	2,234	3.5	1,826	3.0	1,647	2.8	1,496	2.8
	竹笹類	4,602	5.9	4,255	6.2	3,546	5.9	3,640	5.7	3,234	5.3	3,263	5.6	2,222	4.2
	木草本類	17,399	22.5	15,245	22.9	12,902	21.4	15,097	23.7	14,625	24.1	14,641	25.0	13,239	24.9
	つる性類	7,584	9.8	5,029	7.4	4,057	6.7	4,127	6.5	3,508	5.8	3,306	5.7	2,664	5.0
	コンテナ計	49,077	63.4	42,393	62.1	35,342	58.5	38,326	60.2	36,378	59.9	34,830	59.5	30,289	56.9
	総計	77,446	100.0	68,288	100.0	60,402	100.0	63,717	100.0	60,755	100.0	58,489	100.0	53,240	100.0

		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
		本数	構成比	本数	構成比	本数	構成比	本数	構成比	本数	構成比	本数	構成比	本数	構成比
露地栽培	針葉樹	2,458	4.8	1,837	3.5	1,718	3.3	1,443	3.0	1,324	2.8	1,349	2.9	1,100	2.3
	常緑高木	3,690	7.2	2,525	4.8	2,491	4.8	2,062	4.3	2,210	4.7	2,265	4.8	2,125	4.5
	落葉高木	834	1.6	1,035	2.0	970	1.9	945	2.0	953	2.0	932	2.0	1,071	2.3
	常緑低木	14,124	27.6	12,578	24.1	11,167	21.4	9,285	19.5	9,750	20.6	9,604	20.5	9,524	20.2
	落葉低木	1,791	3.5	1,420	2.7	1,408	2.7	1,030	2.2	1,014	2.1	1,012	2.2	1,152	2.4
	ヤシ類	12	0.0	10	0.0	10	0.0	11	0.0	8	0.0	8	0.0	7	0.0
	木草本類	187	0.4	68	0.1	72	0.1	34	0.1	23	0.0	26	0.1	3	0.0
	つる性類	1	0.0	1	0.0	3	0.0	2	0.0	2	0.0	1	0.0	1	0.0
	ササ類	31	0.1	28	0.1	20	0.0	23	0.0	22	0.0	19	0.0	17	0.0
	露地計	23,131	45.2	19,504	37.4	17,863	34.3	14,838	31.2	15,311	32.3	15,221	32.5	15,004	31.8
コンテナ栽培	針葉樹	1,753	3.4	2,280	4.4	2,071	4.0	1,878	3.9	1,825	3.8	2,175	4.6	2,084	4.4
	常緑高木	2,897	5.7	3,537	6.8	3,433	6.6	2,745	5.8	2,548	5.4	2,827	6.0	2,786	5.9
	落葉高木	1,471	2.9	1,386	2.7	1,709	3.3	1,379	2.9	1,315	2.8	1,195	2.6	1,323	2.8
	常緑低木	3,911	7.6	6,135	11.8	6,096	11.7	5,238	11.0	5,371	11.3	5,687	12.1	5,908	12.5
	落葉低木	1,093	2.1	1,604	3.1	1,736	3.3	1,469	3.1	1,554	3.3	1,514	3.2	1,513	3.2
	竹笹類	1,795	3.5	1,565	3.0	1,919	3.7	2,178	4.6	2,107	4.4	1,639	3.5	1,826	3.9
	木草本類	12,730	24.9	14,117	27.1	14,813	28.4	15,679	32.9	15,425	32.5	14,880	31.8	14,987	31.8
	つる性類	2,358	4.6	1,980	3.8	2,483	4.8	2,184	4.6	1,949	4.1	1,712	3.7	1,739	3.7
	コンテナ計	28,012	54.8	32,607	62.6	34,263	65.7	32,754	68.8	32,098	67.7	31,634	67.5	32,170	68.2
	総計	51,143	100.0	52,112	100.0	52,127	100.0	47,592	100.0	47,409	100.0	46,856	100.0	47,175	100.0

露地・コンテナ別供給可能量の推移



連載「里山植物と景観」

第6回 里山の鎮守の杜

東京農業大学名誉教授 中村 幸人



◆プロフィール 中村 幸人（なかむら ゆきと）
1952（昭和27）年3月 東京農業大学名誉教授（博士 理学）
専門：植生学、植物地理学、景観生態学
神奈川県鳥獣総合対策協議会委員、神奈川県公共事業評価審査会委員、国際植生学会群集命名規約委員会委員 他
横浜国立大学助手、作新学院大学教授を経て平成14年より東京農業大学教授

私は1970年代には宮脇昭先生のもとで各地を回り植生調査を行っていました。1年のうち250日くらいは野外に出ていると思います。その当時は日本植生誌を毎年1巻刊行するために、研究室では春から夏まで調査に入り、秋に資料をまとめて書き始め、年が明けて校正に出版社に通い、年度末には発刊ということを毎年繰り返していたような気がします。

お陰様で日本列島を調査して歩くことができましたが、調査の目的の一つが潜在自然植生を明らかにすることです。現存する自然植生を出来るだけ調査して正確な情報を得る必要がありました。しかし、人々の生活圏に自然の森など存在しないのが世界の常識です。自然林はとうの昔に農耕地や市街地に変えられ、消えてしまっているのが普通です。ところが日本では、神社の境内で人が立ち入ることのない聖域であるがゆえに、「鎮守の杜」に自然林が残されていたのです。弥生時代以降、常緑広葉樹林帯では稲作を中心に集落が形成され、やがて精神世界の拠り所として各地に神社・仏閣が形作られていきます。我々は1/25000の地形図上のすべての神社とお寺をマーキングし、現地で植生を確認することを続けました。今のようにGoogle Earthもなく、精度の高い空中写真も手に入らなかった時代、現地で片っ端から自然植生を確認するしかなかったのです。

境内がスギ植林、イチョウやクスノキの大径木であるところも少なくないのですが、鬱蒼としたスダジイやタブノキの照葉樹の森に覆われている神社やお寺を見つけたときは、気持ちが高揚したのを覚えています。許可を頂いて境内に入り、植生調査を行うために森の中心に立つと、かつてその地域に広がっていた自然林の姿が蘇ってきたものです。

我々は自然林に相当する社叢林を調べ、その植生のタイプを種組成に基づいて類型化し、点から線へ、線から面へと広げて、潜在自然植生を判定していったのです。当然、気候や地形、土壌条件が均一なところ、植生のタイプと環境の関係を読み取りながら作業を進めました。人々が暮らす文化景観に自然は残されていないのですが、身近にある自然度の高い社叢林、「鎮守の杜」が日本の本来の自然、潜在自然植生を明らかにしてくれたのです。



伊豆市大宮神社のイチイガシ、スダジイ、タブノキの社叢林

さて、私が訪ねた鎮守の杜をいくつか紹介したいと思います。伊勢神宮と大分の宇佐神宮の鎮守の杜は生物多様性の大きいイチイガシ群集に同定されています。内陸の比較的平坦な地形と豊かな土壌を指標しています。高木層にイチイガシが優占し、その



伊豆、大瀬崎の砂嘴の礫浜に見られるビャクシン、クロマツ、イヌマキの社叢林

ほか、スダジイ、タブノキ、ヤマモガシなどが見られます。亜高木層にはヤマビワ、トキワガキ、コバンモチ、ヤブツバキ、サカキ、ヒサカキ、低木層にカンザブロウノキ、クロバイ、クロキ、リンボク、ルリミノキ、ハクサンボク、ネズミモチ、タイミンタチバナ、イズセンリョウ、アオキ、草本層にはナガバジュズネノキ、ツルコウジ、ヤブコウジ、マンリョウ、ガンゼキラン、キエビネ、ナツエビネ、ナギラン、キジノオシダ、オオキジノオシダ、オオカナワラビ、ミドリカナワラビ、シロヤマシダのほか、セッコク、キバナセッコク、ナゴラン、フウランなどの着生ランも見られます。太宰府天満宮ではクスノキの大径木が目立ちますが、奥に入るとイチイガシが生育しています。やはり潜在自然植生はイチイガシ群集なのかもしれません。クスノキは市杵島姫（いちきしまひめ）を祀る辺津宮の宗像大社にも多く、イヌグスとも呼ばれる自生種のタブノキを見かけません。潜在自然植生はムサシアブミータブノキ群集と思われますから、宗像一族にとってクスノキは重要な舟材として、また大陸から持ち込まれた文化の象徴として植栽されたのかもしれません。しかし三女神の一柱、田心姫（たごりひめ）が祀られている沖ノ島の沖津宮では現生の状態に近いムサシアブミータブノキ群集の社叢林で覆われ、タブノキ、ホルトノキ、オガタマノキ、ナタオレノキの大径木に日本古来の息吹を感じてしまいます。

常緑広葉樹林帯において里山の本来の自然の姿を示す社叢林はスダジイ林とタブノキ林が多く、石川の気多大社、本州の東側でも御前崎の池宮神社、伊東市の来宮神社、逗子市の神武寺、房総の清澄寺などで見ることができます。また、山地ではモミ・ツガ林、コウヤマキ林、ウラジロガシ林を社叢林とした密教寺院の高野山や愛知の鳳来寺山があげられます。

このように里山で暮らす人々の心の拠り所として、神様がその土地のもっとも多様で安定した極相林とも呼べる「鎮守の杜」に祀られているのは興味深いことです。

特集

YouTubeチャンネル

やっちゃんTV【植木屋BASE】

後藤保範 (有)大阿蘇造園 (熊本県)

どうも!
やっちゃんです!

みなさんは心から楽しんで仕事をしていますか?そして、自分の仕事にプライドを持っていますか?

「どうも!やっちゃんです!」という挨拶から始まるYouTube動画を作成してます。植木屋ユーチューバーの「やっちゃん」こと熊本の後藤保範(やすのり)です!私は、植木屋をベース(野球、他いろんな事やってます)にYouTubeチャンネル『やっちゃんTV 植木屋BASE』を開設し植木屋の認知度を高める活動として、YouTube動画を作成してます。

植木屋をエンタメ化する事で植木屋の認知度の向上はもちろんの事、業界の課題である人手不足、技術継承、単価の向上等のソリューションにしたいと考えています。これからの時代、「商品」や「サービス」の価値はそれらにどれだけの『ストーリー』が付加されてあるかで決まると考えています。生産に携わった人達の「人柄」や生産に至るまでの「思い」や「知恵と工夫」等が大事です。そして、それらをより多くの人達に伝える『発信力』が何より大事になると考えています。



ch登録者200人突破記念!

や未来のビジネスについて、意見を交わす機会が増えました。肌感覚ですが、「貨幣」ではなく「信用」を頂いています。もちろん、売り上げにも貢献させて頂いています。

これからのビジネス展開を考える上でオンライン化は必須科目だと考えてました。(コロナ禍は予想外でしたが)今やPC、スマホを使用して、場所問わずインターネットが使える時代です。作業の休憩中に、大木の木陰で雄大な阿蘇の風を感じて動画編集やSNSを楽しんだり、時にはネットショッピングしたり、映画見たり、ドラマ観たり…なんて事は日常のルーティンワークです。もちろん、ソーシャルディスタンスどころか、周囲には人間よりも動物の方が多いです。笑

誰にも邪魔されないのので幸福なひと時です。地方のポテンシャルが発揮される時が来たようにも思えます。そういった幸福の価値観もビジネスにおけるヒントなのかな?と考えたりしてます。

ちなみに…YouTubeを始めるにあたり、「お金」よりも「ほんの少しの勇気」が必要でした!嫁の

やっちゃんTV

チャンネル開設

YouTubeにて動画を配信していきます!

youtube はじめます!!

機嫌をいながら始めた事は言うまでもありません。笑

新しい事をはじめると言う事は膨大なエネルギーと勇気が必要ですよ。人に批判されるかもしれない、笑われるかもしれない。失敗するかもしれない。そもそも私自身、人見知りでコンプレックスだらけの人間でした!小さな成功体験を積み重ね(もちろん失敗もします)自信をつけていく事で他人への承認欲求を捨て、前に進んでいます。そして、やりたい事に自信を持ってやっています!

無論、多くの人の支えやご協力があって成り立っています。

すでに、協会会員の方でもYouTube含めSNSを通じて多くの人からフォローを頂いております。特に、内田さん【内田養樹園】は同じユーチューバーとしてフォローを頂いてますし半田さん【(有) 半田植物園】からは熱いコメントと豊富な知識を頂いてます。その他多くの方から、投稿へのコメントや高評価を頂いております!いつもありがとうございます!熊本のローカル番組ですが、TV出演もさせて頂きました。

これからも、自分の頭と足を動かして時流に応じた仕事のやり方を試行錯誤して挑戦し続けたいと考えてます。いろいろと、

小生意気な事を述べさせて頂きましたがとはいえ、私はまだまだ経験も浅ければ、知識も吸収していかなければなりません。協会を通じて、多くの方々と出会って、知見を深めていきたいと考えてます。是非、多くの方々に動画のご出演も願っています。

アップロード済みの動画として同世代の白石 匠さん【(有)南阿蘇緑化】とは植木屋とSNSについての熱いトークを交わし、大森信之介さん【大森樹芸園】とは新・国立競技場周辺の植りポ(植栽リポート)を行いました。

そして、弊社代表である父とは「親子会議」と称していろんなテーマで世代間の認識を共有するトークを行いました。



他SNSとして
・Instagram: やっちゃんTV【後藤 やすのり】
・Facebook: 後藤 保範
・Instagram(会社用): 大阿蘇造園【後藤 保範】
・Twitter: やっちゃんTV(後藤 やすのり)
もやってますので、是非ご覧ください!
よかったですら、フォローもよろしくお願いします!

のびのびと好きな事をさせて頂ける会社や、代表である父には感謝しています。これからも、YouTubeを通して植木屋をエンタメ化させてより多くの人に、認知してもらえるように頑張ります!そして、業界を大きくアップデートしたいと思います!

是非、YouTubeチャンネル: やっちゃんTV【植木屋BASE】のご視聴とチャンネル登録(無料)&高評価よろしくお願いします!(毎週土曜日アップロード!)



サクラの道を親子で作る



日本列島植木植物園

ナショナルプランツ コレクション*

園菅原勝利 北日本菅与(株)(秋田県) ☎0182-24-2328



あみモミジ



クロマツ



キンキヤラ

イチイ (Taxus cuspidata)

クロマツ (Pinus thunbergii)

アカマツ (Pinus densiflora)



アカマツ



イチイ

*ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を風のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

東北で植木を生産するには厳しいものがあります。特に北東北の秋田、青森、岩手では、関東以西では5年から10年で育つものが、冬の寒さや日照時間の短さから、その1.5倍から2倍の年数がかかります。しかしながら、その風雪に耐え、長い時間をかけて多種、多様な樹形をなすモミジ、アオダモ、ナツハゼなどの山採り樹木には、まっすぐに整って育つ畑作樹木と違って、個性的な趣を醸し出す自然木として人気があります。

また、農家など旧家の庭先には独創的な古木(仕立物)クロマツ、アカマツ、イチイなどが多く残されており、国内での販売はもとより、海外にも多く輸出されています。

香川県の 保育園にて 緑育出前授業と記念樹贈呈事業を実施

(有)半田植物園(香川県)
半 田 茂 富

令和2年6月4日（木）に香川県高松市の
にこにこ保育園にて緑育出前授業を実施しま
した。

実施内容

- ①SDGsのターゲット13と15項目について教
えるために香川県のオリーブを植栽し、ク
ローバーの種子を園庭にまき、気候変動に
対応した植栽の大切さを教えました。
- ②園内の植物に、木の名前や特徴を教えてオ
リジナルの樹名板の取り付けをしました。
- ③国連が奨めるグリーンウェブ2020に参加
して植物の大切さを伝えました。
- ④植物を本格的に植えたことのない子供たち
に、樹木の育て方を教えました。

実際、行ってみて先生方にも植物の効果効
能を学んでいただき、これから子どもたち
の家族にも植物の大切さが拡散していくこと
に期待が持てました。



「ぼく、将来、植木屋さんになる！」
と一生懸命に荷台を運んでくれました。

高松市にこにこ保育園の先生の感想

「子供たちは、お迎えに来た保護者の方に「これ、みんなで植えたんで…きれ
いやろ!」と嬉しそうに話していました。お家の人と楽しく笑顔で会話をして
いる様子を見て、とってもほのぼのとした気持ちになりました。記念植樹も体
験させていただいたことで、子どもたちが樹木や草花、身近な自然に興味や関
心を持ち、大人になって緑や自然を愛する人に成長して欲しいと心から思いま
した。子どもたちに植物を身近に感じる機会を与えていただき、また園庭の緑
が増え、子どもたちにとっても保育士や保護者にとっても癒される空間が増え
たことを心から感謝致します。」

高松市にこにこ保育園の先生の感想

「クローバーの種を見て「これはお砂?」「ちっちゃいね」と
様々な感想を持ち、また種を蒔くときにも、大胆に蒔
く子ども、そっと少しずつ蒔く子ども、蒔く場所を一生
懸命に考えている子ども、大きくなあれと言いながら
蒔く子どもと…様々な様子が見られました。最近庭のない家庭も増え、緑に
触れる機会が少ない子どもも増えてきており、このような緑育出前授業で緑に
触れる時間を持つことができ、とても貴重な体験をさせていただきました。

これを機会に子どもたちが、より一層、土に触れる楽しさや、植物を育てる
喜びを感じることができるよう、保育園でも緑育活動を積極的に保育園の中に
取り入れていきたいと思います。」



特集 最近のホソバヒイラギナンテン

株式会社 アスコット
若 林 芳 樹

前回の記事で、『ボックスウッド』の学名について書かせていただきました
が、今回はホソバヒイラギナンテンについて書かせていただきます。

最近、弊社に『ホソバヒイラギナンテン』の名前で樹名札の注文があります。

『ホソバヒイラギナンテン』は、私が20代のころ（40数年位前）に植栽設計
でよく使用した記憶がありますが、現在、造園ではほとんど使われていない
というのが私の認識であり、はじめは『ホソバヒイラギナンテン』という名前は
何を指しているのか分かりませんでした。

そこでインターネットで検索してみたところ、『マホニア コンフーサ』あ
るいは『マホニア ナリヒラ』が引っかかってきました。『マホニア ナリヒ
ラ』は、協会が編集した『改訂版 新樹種ガイドブック』で初めて紹介された
樹木で、『新しい造園樹木』の副題が示すように、近年新しい造園樹木として
注目されている人気の高い常緑低木です。本を開いてみると『マホニア ‘ナリ
ヒラ’』で紹介されていますが、どこにも『ホソバヒイラギナンテン』の名前は
ありません。確かに『ヒイラギナンテン』に比べれば葉が細いのはわかります
が、昔からの『ホソバヒイラギナンテン』を知っている私にとっては、どこで
どうなって『マホニア コンフーサ』あるいは『マホニア ナリヒラ』が『ホ
ソバヒイラギナンテン』の名前となったのか不思議でした。

現に私の監理・監督しているマンションの植栽改修設計図の樹木凡例に『ホ
ソバヒイラギナンテン』の名前が記載されていました。設計者及び施工者に樹
木凡例に記載されている『ホソバヒイラギナンテン』は、何の樹木を指してい
るのか伺ったところ、インターネットに載っている通りで、『マホニア コン
フーサ』あるいは『マホニア ナリヒラ』を指しているとのことでした。なお、
『マホニア コンフーサ』と『マホニア ナリヒラ』は同じものとの情報もあり
ますが、葉の細さ（幅）に違いのあるタイプが見られることから『ナリヒラ』
は選抜品種かもしれないかもしれませんがはっきりしません。

原点に戻って昔からある本物の『ホソバヒイラギナンテン（写真参照）』につ
いて調べてみると、中国原産で、わが国には明治初年に入ると上原敬二先生
の『樹木大図説』I—1039頁に記載されています。別名としては『ササバヒイ
ラギナンテン、ナンテンヒイラギ、ナガバノヒイラギナンテン、ナガバノヘビ
ノボラス、シャジバナンテン』などの名前が記載されています。

そこで弊社にあるめばしい植物図鑑や樹木図鑑、造園事典などをあたってみ
ました。当然のことながら新しい樹木の『マホニア コンフーサ』あるいは『マ
ホニア ナリヒラ』についての記載はありませんし、『ホソバヒイラギナンテ
ン』の別名として『マホニア コンフーサ』あるいは『マホニア ナリヒラ』
を記載している図鑑もありませんでした。

学名の先取優先を持ち出すつもりはありませんが、明治初年は1868年です
ので、152年前から『ホソバヒイラギナンテン』の名前は使われていることにな
ります。最近では『ホソバヒイラギナンテン』がほとんど植栽されていないか
らと言って樹木がなくなったわけではありませんので、『マホニア コンフーサ』
あるいは『マホニア ナリヒラ』を『ホソバヒイラギナンテン』の名前で呼ぶ
ことは明らかな誤りであるといわなければなりません。それらに『ホソバヒイ

ラギナンテン』の名前を使ってはいけないのです。正しい名前を使用してい
る方も多いと思いますが、インターネットなどからの誤った知識を基に、安易に
この名前を使用している造園関係者には、植物を扱う専門家としての立ち位置
を考えると、猛省を促したいと思います。

ここからは学名の話を少しさせていただきます。これまでの学名では『ホソ
バヒイラギナンテン』は『*Mahonia fortunei*』です。『マホニア ナリヒラ』は、
『改訂版 新樹種ガイドブック』では『*Mahonia confusa* ‘Narihira’』となってい
ます。弊社は樹名札の学名の出典根拠の一つに『改訂版 新樹種ガイドブック』
を採用している関係でこの学名を使用していますが、改めて学名をチェック
してみたところ、『マホニア ナリヒラ』の学名が変わっていることが判明しま
した。その主な出典としては、RHSの『Plant Finder 2019』で、『*Mahonia*
eurybracteata ‘Narihira’』となっています。アメリカの造園樹木などの生産販売
会社としてよく知られたモンロビアンナーセリーや植物園として有名なラウルス
トン アーボリータムのHPをのぞいてみると、RHSと同じ学名を使用してい
ます。

また、最近の流れから見てみると、APGによる学名の見直しがあります。
現状ではまだAPGの分類による学名で樹名札を製作することは少ないです
が、「APGⅢに則した学名で」との注文も増えてきています。おいおいAPGの
分類体系で統一されていくことになるかと思われます。

APGⅢによる新しい分類によると、ヒイラギナンテンの仲間はこれまでのヒ
イラギナンテン属（*Mahonia*）からメギ属（*Berberis*）に包含されるよう
です。ですので、『ホソバヒイラギナンテン』の学名は『*Mahonia fortunei*』から『*Berberis*
fortunei』に、『マホニア ナリヒラ』の学名は、『*Mahonia confusa* ‘Narihira’』
から『*Berberis eurybracteata* ‘Narihira’』に変わるようです（植物分類表 大場秀
章編著（株アブック社発行 参照）。エングラの分類体系で学んできた私に
は頭の痛い日々が続きます。

なお、和名について考えたのですが、『マホニア ナリヒラ』について『ホ
ソバヒイラギナンテン』以外の適切な名前はないかとインターネットなどを
のぞきながら考えたのですが、ナリヒラヒイラギナンテンあるいはヤナギバヒイ
ラギナンテンなどの名前が記載されています。学名は変わっても和名は変わる
ことが少ないので、相応しい名前があると良いのですが、私は後者を一押しと
したいと思います。

また、この原稿を書く中で『マホニア ナリヒラ』の品種についての情報も
ありました。『ナリヒラ』に比べ葉の幅が一段と狭い品種が生産されているよ
うです。生産しているのは和歌山県紀の川市桃山町の『農事組合法人 桃山町
植木組合』です。植木組合のHPを見ると、『マホニア コンフーサ セリリュ
ウ（青流）』という名前です。細葉で品が有りなかなか良いのではないと思わ
れます。ヒイラギナンテンの仲間は実生が比較的容易なので、実生選抜のよう
です。

会員の皆様も、ヒイラギナンテンに限らず色々な植物の種をまいて、カネニ
ナルキを探し出し、一獲千金を目指しましょう。



ホソバヒイラギナンテン 小葉の数が少ない



マホニア コンフーサ（右 基本種？）



マホニア ナリヒラ（実生選抜？）



ヒイラギナンテン



日本列島植木植物園

ナショナルプラント コレクション*

◎川原田邦彦 確実園芸場(茨城県) ☎029-872-0051

クサボケ (*Chaenomeles Japonica*)

本州、四国、九州に自生する。山野に普通に見られるが、雑木林に欠かせない。春にオレンジ色の美しい花を咲かせ、よく目立つ。白や八重咲きの自生も見られる。15年ほど前に「咲き分け」が発見され注目をあびている。秋には香りのよい果実が収穫でき、果実酒としてよく知られている。樹高は0.3~1.0mほどだが、0.1m位に刈込み敷詰めれば、オレンジの絨毯のような楽しみ方ができる。



埼玉赤



ピンク花



錦千鳥



黒花



多花



多花性



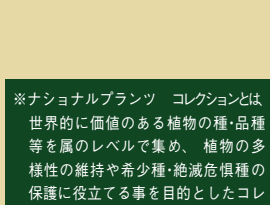
咲き分け(多摩錦)



超巨大輪



濃色大輪八重



※ナショナルプラント コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を風のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

ヤマツツジ (*Rhododendron kaempferi*)

北海道南部から九州までの山野に普通に自生する。花は普通で朱赤色、赤、紫紅色が基本であるが白花や紫色のものも自生している。八重咲きや蕊咲き等品種がある。夏秋葉は春の葉よりかなり小さくそのまま冬を越す。樹高は1.0~4.0m。



エリモヤマツツジ 八重咲き



スルガヤマツツジ 駿河春秋



ヤマツツジ かがり火ヤマ



ヤマツツジ 綾姫



ヤマツツジ 紅富士



ヤマツツジ 散斑



ヤマツツジ 純白二重



ヤマツツジ 大文字山



ヤマツツジ 沢雪



ヤマツツジ 天城牡丹



ヤマツツジ 桃花金蕊



ヤマツツジ 日光見初め



ヤマツツジ 不老山



ヤマツツジ 夕霧

特集

「希少植物と緑化木」② ヒゼンマユミ (*Euonymus chibai* Makino)

猪 上 信 義 (元福岡県森林林業技術センター研究員)

ヒゼンマユミは暖帯及び亜熱帯の海辺に近い場所に生えるニシキギ科の常緑高木で、日本で自生しているのは沖縄、鹿児島、長崎、大分、山口、徳島の各県で、朝鮮半島南部にも分布するという⁽¹⁾⁽²⁾。

これが世に知られたのは明治39(1906)年で、地元の植物研究家千葉常三郎が長崎県諫早の城山公園で発見し、その後牧野富太郎により大正2(1913)年に新種として記載されたことによる。学名にある *chibai* はもちろん発見者を記念したものである。その後の調査で発見場所の城山公園はスダジイが優占するものの、ヒゼンマユミの個体数が多く、その他にもヤマモガシ、シイモチ、ヤマヒハツ、トキワガキ、ミサオノキなど暖帯性の常緑樹が多いということで、昭和26(1951)年に国の天然記念物に指定されている⁽³⁾。

(1)には記載されていないが、

(2)で図示されているように福岡県宗像市沖ノ島にもヒゼンマユミが自生している。この島は福岡県本土から約55kmの玄界灘に浮かぶ周囲4kmほどの孤島である(写真1)。小生も福岡県庁に在職中、公務で何度か訪れた際、島の各地で目になっている。ご存じの方が多いと思われるが、この島は「海の正倉院」や「神宿る島」という代名詞のとおり、中国大陸や朝鮮半島との文化的なつながりを裏付ける遺物が大量に発掘されていて、2017年には世界文化遺産に指定されている。一方で朝鮮半島に近いことや対馬暖流の影響などでヒゼンマユミの他(写真2)、オオタニワタリ、ハイビヤクシン、コバノイラクサ、ミヤコジマツツラフジ、コウシュウヤク、ナタオレノキ、ヒロウなど貴重な植物が自生することでも知られている(蛇足であるが、この島は宗像大社の神域で今日でも女人禁制であり、しかも上陸の際には全裸になり海水でみそぎをする習わしになっている。以前海水が最も冷たいとされる3月上旬に訪れた際には、文字通り縮み上がるほどの冷たさだったことを今でも



写真1, 沖ノ島全景1990年7月



写真2, 沖ノ島のヒゼンマユミ1993年3月

覚えている)。

ここでヒゼンマユミの形態を簡単に紹介すると、常緑高木で樹高は10mくらい、樹皮は灰褐色で滑らか。一、二年生枝は緑色で4稜があり、葉は対生し、革質で光沢があり、卵形~楕円形、長さ4~8cm、縁には低い鋸歯がある。花は5月頃黄緑色であまり目立たない(写真3)。果実は倒卵形の蒴果で4稜があり、初めは緑色だが次第に鮮やかな黄色に変わり、中から橙色の種皮に包まれた種子が飛び出す⁽¹⁾⁽²⁾。

さてこのヒゼンマユミを緑化木として利用する場合、大学や公的な植物園などで学術的に植栽することは当然考えられる。その他に観賞用とする場合にどのような魅力があるかを考えると、先に述べたように花はあまり目立たないが、私が福岡市植物園(同市中央区小笹)に植栽されている40~50年生の木を、7~8年にわたり観察したところでは、ほぼ毎年多量に開花・結実して、その果実が冬から早春にかけて鮮やかな黄色に色づき、果柄から垂れる様はかなり趣きがある(写真4)。一方で成木にならないと結実しないこと、それまでには枝葉をかなり茂らせること、かといって剪定をすると開花・結実しにくくなることなどから、一般家庭向きでないことは確かなようである。

一応繁殖方法について述べると、成木では大量の果実を付けるが、この種子は取り播きしても、また低温で貯蔵して春に播いても、大多数は二年目か三年目の春にしか発芽しないということなので⁽⁴⁾、実生よりも挿し木のほうが実用的かもしれない。詳細なことは小生もまだ手がけたことがないので、よく分からないが、形態的に似かよっているマユミと同様の扱いでよいと思われる。



写真3, ヒゼンマユミの花、福岡市植物園提供



写真4, ヒゼンマユミの果実、福岡市植物園提供

引用文献 (1) 佐竹義輔他編(1989)日本の野生植物木本Ⅱ.305pp.平凡社 (2) 倉田恒(1971)原色日本林業樹木図鑑第3巻.256pp.地球出版
(3) 中西弘樹(2015)長崎県植物誌.388pp.長崎新聞社 (4) 山中寅文(1975)樹木の実生と育て方.256pp.誠文堂新光社

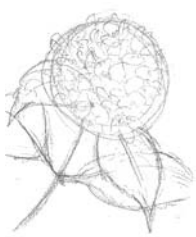
『植物スケッチのすすめ』 水彩色鉛筆を使って簡単に…

小岩井農牧(株) (岩手県) 足 澤 匡

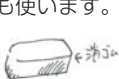
「植物のスケッチを簡単にしてみたいな!」と思ったことはありませんか?

私がいつも描いているスケッチの手順をまとめてみましたので、皆さんも植物を描いてみませんか？

①**ラフスケッチをする。**…全体の構図を考え、「B」以上のやわらかい鉛筆などで軽く描きます。紙は水を吸ってもフニャフニャにならない、少し厚手のスケッチブック。私は、ワットマンウォーターペーパー185g/m²を使ってました。製造御中止になった今は、好みのスケッチブックを探してます。



②油性細ペンで線を決める。…墨
入れる油性ペンは、どんなメー
カーでもいいのですが、私のお気
に入りは、ステッドラーピグメン
トライナー。太さは、0.2~0.3mm
で、細かな部分の表現では、0.1
mmや0.05mmも使います。



③鉛筆の線を消す。…不用な鉛筆の線を消しゴムできれいに消します。これで下絵が完成しました。あとは、塗り絵をするのです。



⑤**水筆ペンで水彩色鉛筆を溶かしながら着色する。**…水の入った筆ペンで、薄い色から順番に、色を混ぜたり、ぼかしながら、着色します。筆先に色が残りますので、混ぜたくない時には、布巾で筆先をきれいにしながら。色の薄い所は、乾かしてから重ね塗り、濃い所は、消しゴムで少し消すことができます。



⑥サインを入れて完成。…影を入れたり、メリハリを付けましょう。最後に、サインを入れて完成となりますが、植物名（和名、学名など）も入れると記録になります。



植物をスケッチすることにより、対象となる植物をしっかりと観察することになります。例えば、毛の有る無し、部位による色の変化、など。対面する植物の隅々まで観察することになり、とても有意義な時間であると感じられると思います。

ちなみに、この植物は「ヒメアジサイ」。俗にいう「アジサイ（本アジサイ）」とは異なり、葉に光沢がなく、葉柄が淡紅色に染まります。本アジサイに比べ、何処か寂しげな、優しい魅力が描かれていれば、この植物の特徴を描いたことになるのではないのでしょうか。



創立120年目を迎え、多くの産業人を輩出してきました。現在、生物資源科、環境デザイン科、機械科、電子機械科の4学科がある。

で色彩や平面構成、立体構成、陶芸、トレース検定課題などを学びます。トレース検定は全員受験となっています。2年生では「造園計画」、



「環境デザイン技術」の4科目が専門科目です。「農業と環境」及び「総合実習」の中で、農業の基礎や造園の基礎を学んでいます。特

検定3級は毎年数名の生徒が受検し合格するようになってきました。

3年生ではランドスケープデザイン班で造園施工・

ンデザイン専攻班に分かれていて、それぞれ専門的な実習を行っています。1年生では「農業と環境」「総合実習」「農事情報処理」を学習します。造園技術では造園技能検定3級の庭園作製課題を中心に竹垣の施工や、平板・縁石の据え付けを行います。造園技能

田駅、特別養護老人ホームなどの公共施設を中心に本校で育てた草花を装飾する活動を行っています。今年度



フンガーデンや寄せ植え作
品を出品しています。

また、グリーンデザイン
班では近隣施設への花いっ
ぱい運動を実施していま
す。近隣の郵便局、消防署、
警察署、児玉駅、本庄早稲

満ち溢れた表情でした。また、全国造園デザインコンクールにも多くの作品を出品し、今年度は住宅庭園部門で学校初の入選を果たすことができました。その他、ふかや緑の王国主催のふかや花フェスタ&オープ

ていき、完成後の管理について中学校の環境美化委員の生徒にアドバイスを行いました。幼稚園のモデルガーデン作製は園児が喜びそうな庭を二つのテーマとしてデザインを考案していきました。完成した時は、生徒は皆、達成感と成就感に

幼稚園などの近隣の学校にモデルガーデンを作製しました。生徒は母校にモデルガーデンをプレゼントすることを目的としてデザインを決め



学校紹介

未来の業界を担う若者たち

埼玉県立児玉白楊高等学校

造園デザインを
行っています。
近隣の児玉中学
校、神川中学校





特集 竹はポピュラー、なれど不思議な植物 ⑫ 放置竹林を管理竹林に導くための第一歩 「整理伐」

渡 邊 政 俊

◆プロフィール

1933年 富山県生まれ。京都外国語短期大学卒。1951～1991年京都大学農学部附属演習林文部技官。この間、故上田弘一郎京大名誉教授の研究を手伝う。1986年九州大学農学博士。1992～2002年(隔年)高知大学農学部非常勤講師。1993年以降林野庁の特用林産ビジョン検討委員会委員など竹・タケノコ関連事業委員を歴任。元国際協力機構(JICA)専門家(1970～72年タイ、1994、95、97年インドネシア、1996年チリ)。現在、竹文化振興協会専門員、京都市洛西竹林公園専門員。

竹林は持続的有効活用が期待できる木質資源であり、わが国の竹林のほとんどはかつて人々が汗して栽培してきた歴史がある。この期待できる竹資源を有効に活かすためには、放置竹林の現状をよく観察し、その状況に応じた改善策を講ずる必要がある。ところが、いざジャングル化した放置竹林を目の当たりにすると、何からどうしたらいいのか、戸惑うばかりであろう。

そこで、林野庁は平成20年度から3カ年にわたり、竹材が持続的に安定供給できる竹林管理マニュアルの作成事業を実施し、筆者はその事業の一端を担ったことから、ここにその概要を紹介したい。

まず、放置竹林は林内に入ることも困難な状況にある(写真1)。よって、まず第一に入林可能な林況に改善することが重要であり、林野庁の竹林管理マニュアルでは、まず「整理伐」の実施を提示している。

その整理伐(図1)は、まず林況をしっかりと「事前調査」し、その結果に基づき整理伐の対象となる個体を選ぶ「マーキング」作業を実施する。しかし、このマーキング作業は、たとえば写真1の赤矢印で示した枯竹、折れ竹、不良竹などの整理伐対象個体を選ぶ作業であり、竹林整備の根幹に関わる作業であるから、竹の生育や竹林に関する知識が豊富な経験者がその任に当たることが望ましい。

「伐竹」は、まさに整理伐のメイン作業である。しかし、この作業はジャングル化した放置竹林内でチェーンソーを使って実施されるのが一般的であるから、危険かつ重労働、そして熟練を要する作業でもある(写真2)。したがって、竹林整備活動をしているNPO法人やボランティア団体の中には、安全を第一義としてチェーンソーの使用を禁じているケースもある。

伐倒した竹程には枝葉が付いているから、それを切り取らなければ後の始末がし難い。この枝葉を切り取る作業は一般に「枝払い」と称され、意外に難しく、かつ高い技術が求められる場合が多い。

枝払いした竹程をほぼ一定の長さに「玉切り」(写真3A)し、林内の適当な場所に集材するか、あるいは林外へ運び出さなければ、整理伐後の竹林管理に支障を来すことが多い。この作業では、通常4～5mの長さに切断するのが一般的である。

玉切りした竹材を林外へ持ち出すことが出来ればいいが、通常林内の適当な場所に残される場合が多い。その場合、後々の事業の邪魔にならない場所に集積することが望ましく、通常「棚積み」法が採られる(写真3B)。この棚積みは、生立竹を支柱とし、整理伐材を積み重ねる方法で実施される。しかし、棚積みした伐竹材が腐朽するのに数年～十数年間を要することから、その後の

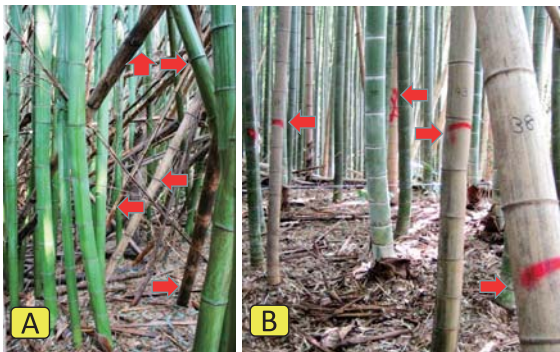


写真1 長年放置されたマダケ林(A)とモウソウチク林(B)の林相 ◆赤矢印は「整理伐」の対象となる個体

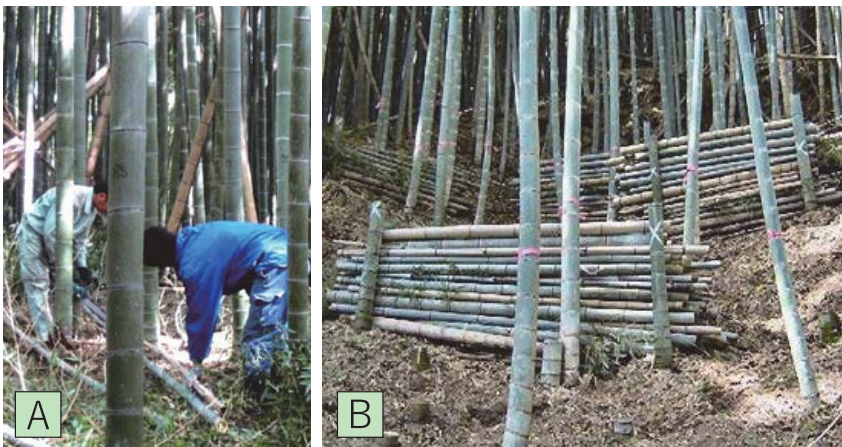


写真3 整理伐竹材をほぼ一定の長さに玉切り(A)し、適当な場所に棚積み(B)

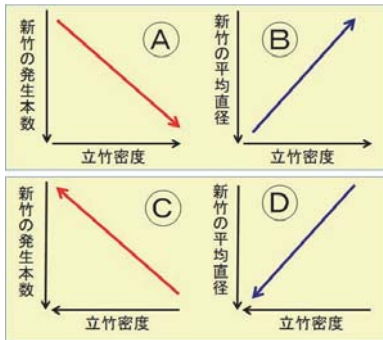


図2 立竹密度と新竹の大きさとの関係
A: 立竹密度が高くなると新竹の発生本数が少なくなる
B: しかし平均直径は太くなる
C: 立竹密度が低くなると新竹の発生本数が増える
D: しかし、平均直径は細くなる

栽培技術の導入に影響の少ない場所を選ぶことが望ましい。

さて、竹林再生の最重要課題は立竹密度のコントロールであり、その密度は竹材生産あるいは筍栽培によって大きく異なる。しかも、立竹密度が高くなるほど新竹の発生本数が減少するがその平均直径は大きくなり、また立竹密度が低くなるほど新竹の発生本数は多くなるがその平均直径は細くなるという生態的特徴(図2、渡邊1987)がある。この特徴は竹林経営の根本的な技術に繋がることから、十分理解しておかなければならない。

実際に、入林すら困難だったマダケ林が、整理伐を経て適正な立竹密度のコントロールにより、見事な観光竹林に変貌した事例がある。それは、京都市奥嵯峨にある大覚寺境内の約1haのマダケ林で、1988年当時、入林すら困難だった放置竹林(写真4A)が、5カ年間の立竹密度コントロールにより、1993年には林内に遊歩道を敷設して参拝者の憩いの場となるマダケの美林(写真4B)が実現した(渡邊ほか1995)ことを紹介しておきたい。

参考文献

日本特用林産振興会：竹材の持続的安定供給を目指した竹林管理マニュアル、2011(同会ホームページからダウンロード可能)
渡邊政俊：日本の竹を守る会特別研究報告、1987
渡邊政俊ほか：Bamboo Journal No.13、1995

会 員 動 向

メールアドレス変更

▷中島農園(株)(兵庫県)
nakajima-nouen@nnweb.co.jp

協会退会

▷植秀園(神奈川県)

訃 報

- ▷備藤久子様(備藤泰充氏のご母堂様)(株備藤園(埼玉県))
令和2年6月没 享年82歳
- ▷生駒恵一様(生駒順氏のご尊父様)生駒植木(株)(神奈川県)
令和2年7月11日没 享年80歳
- ▷佐々木虎夫様(佐々木正直氏のご尊父様)(旬田代種苗園(福岡県))
令和2年8月4日没 享年95歳
- ▷松居傳三様(松居隆史氏のご祖父様)松居農園(株)(滋賀県)
令和2年7月31日没 享年93歳

お詫び

緑化通信 第480号6月号メールアドレス変更での社名訂正 正：(株)豊岡晃樹園

お知らせ



浅井康宏著
『エイリアン植物記
帰化植物の素顔と来歴』

2020年1月刊 本体2400円+税
四六判 上製 312頁(カラー写真多数)
ウズプレス 電話 045-744-9171
Fax 045-744-9172
email: order@woodspress.co.jp

帰化植物に関わること七十年あまり、数々の「緑の侵入者」を調査研究する中で積み重ねてきた、著者だからこそ知る「エイリアン植物の素顔や来歴」を、身近に見られる百数種を取り上げ、特徴をよく表す「超」接写写真(著者撮影)とともに平易な読みものとして紹介。
まず庭で栽培されることのない植物であるが、都会のフローラの主役といっても過言ではなく、植物知識の一つとしてぜひ読まれることをお勧めしたい。文字も大きく読みやすく、資料性にも富み、まさに現代帰化植物研究の第一人者が語る軽妙洒落な保存版「帰化植物エッセイ」である。▶注文の際は最寄りの書店またはアマゾンへ。あるいは直接出版社へ(Fax、emailで、日本植木協会会員との明記で送料をサービスしてくれるとのこと)。

日本芝に使える除草剤

農林水産省登録 第24186号

ガーデンアーザラン® 液剤

●一年生イネ科雑草から
一年生広葉雑草まで幅広く防除する

販売: **ISK 石原バイオサイエンス株式会社**
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号
ホームページ アドレス <http://lbj.iskweb.co.jp>

QRコード: <http://lbj.iskweb.co.jp>

®は登録商標